

【事業の経緯】

別添資料1

港湾-1 島原港改修事業の経緯

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初	—	S62	H16	—		防波堤(沖) 150m 泊地(-2m) 6470㎡ 物揚場(-2m) 235m 道路(B) 6×780m 防波堤(波除) 75m ふ頭用地 1式
第1回審議 (H13)	事業採択後 10年経過	S62	H16	14.3	4.87	防波堤(沖) 150m 泊地(-2m) 6470㎡ 物揚場(-2m) 235m 道路(B) 6×780m 防波堤(波除) 75m ふ頭用地 1式
第2回審議 (H18)	再評価後 5年経過	S62	H21	14.9	1.47	防波堤(沖) 150m 泊地(-2m) 1310㎡ 物揚場(-2m) 235m 物揚場(-2m)(改良) 120m 道路(B) 6×780m 防波堤(波除) 75m ふ頭用地 1式
第3回審議 (H27:今回)	事業完了後 5年経過	S62	H22	14.3	1.22	防波堤(沖) 150m 泊地(-2m) 450㎡ 物揚場(-2m) 255m 物揚場(-2m)(改良) 90m 道路(B) 6×780m 防波堤(波除) 75m ふ頭用地 1式



事後評価結果（平成 27 年度）

整理番号	港湾-1
担当課	島原振興局河港課
担当課長名	松本 伸彦

事業名	島原港改修事業	事業区分	港湾事業	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県島原市霊南 内港霊南地区 至：長崎県島原市霊南 内港霊南地区	延長	-		

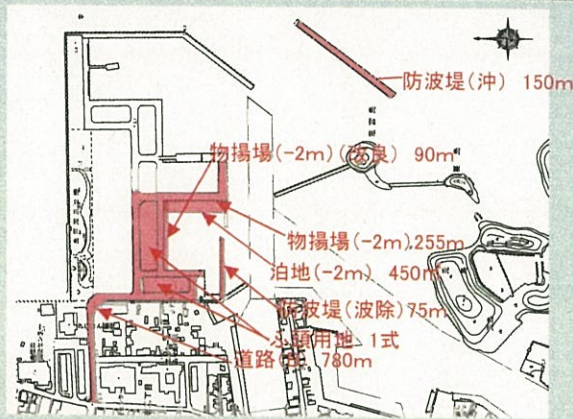
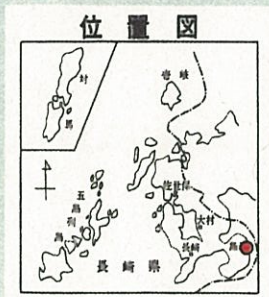
事業概要

外郭施設の整備により漁船の安全な係船場所を確保し、また、漁業就労者の高齢化対策及び漁業就労環境の効率化・省力化・安全性の向上を図るため、係留施設の整備を行う。

事業の目的・必要性

当該地区は漁船の係留施設が少なく、干満差が5mと非常に大きいことから、準備・係留作業に支障をきたしている。このことから霊南地区に防波堤、物揚場等を整備することで、漁業就労環境を改善し、安全安心な漁業活動を図るものである。

事業概要図



工期	着工	S	62 年度		
	完了	H	22 年度		
事業費	再評価時点(H18)		14.9 億円		
	最終		14.3 億円		
B/C	再評価時点(H18)	1.47	総便益(B) 30.4 億円	総費用(C) 20.7 億円	基準年度 H 18 年度
	事後評価時点	1.22	総便益(B) 38.6 億円	総費用(C) 31.7 億円	基準年度 H 27 年度

便益の主な根拠

- 防波堤（波除）・・・漁船等の避難に要するコストの削減便益：2百万円/年
- 物揚場（-2.0m）・・・水産物生産コストの削減便益：76百万円/年
- 道路（B）・・・移動時間の短縮による削減便益：4百万円/年
- ふ頭用地・・・漁具修理作業の時間短縮の削減便益：28百万円/年

事業の発現状況

- 防波堤の整備により、避難に要する作業時間が短縮(5回→0回)
- 物揚場の整備により多そう係留が解消され、離岸・接岸時の作業時間短縮した。(1回当り50分短縮)
- 物揚場の整備により就労環境の改善が図られ、準備作業等効率的な作業が可能となった。(0.66h→0.33h)
- 用地整備により、整備前は船内で行っていた漁具修理作業などの作業効率が向上した。(4h→2h)

事業による環境変化

- 特になし

事業を巡る社会経済情勢等の変化

登録漁船数 再評価時(H16) 287隻 → 事後評価時 234隻(18%減)

対応方針

当該事業に係わる対応方針

(今後事後評価の必要性及び改善措置の必要性)

防波堤、物揚場等の整備により安全で効率的な水揚作業ができるようになった等、作業環境の改善等が図られ効果が発揮していることから、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性はない

同種事業に係わる対応方針

(同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性)

漁船数、漁業者数、漁獲トン数、漁獲金額のこれまでの推移、これからの見通し、展望等をよく見極めながら整備計画をしていく必要がある。

特記事項

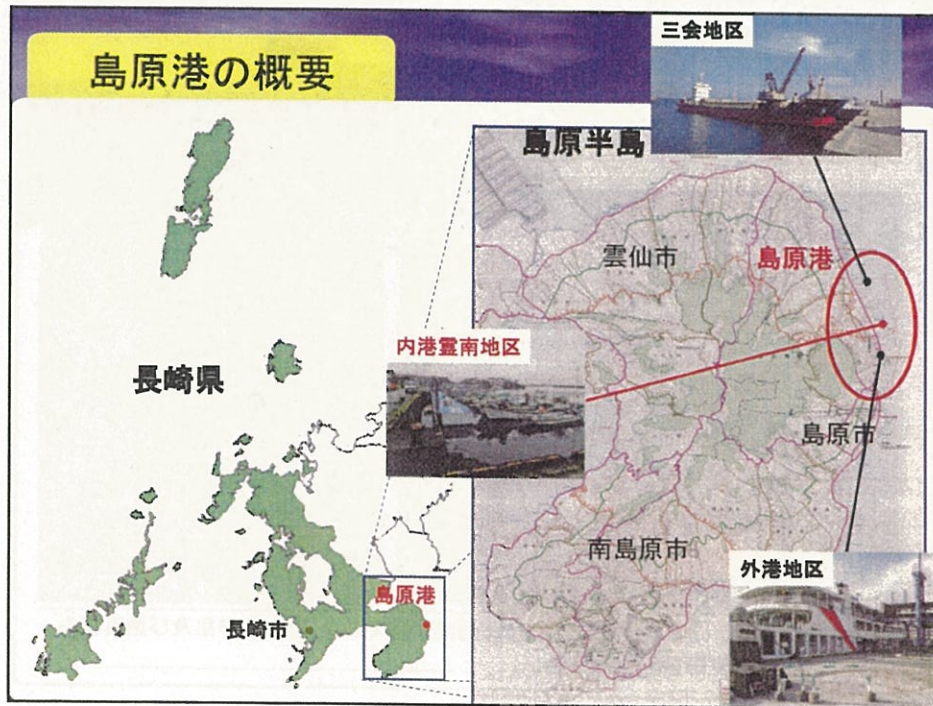
- 特になし



長崎県公共事業評価監視委員会

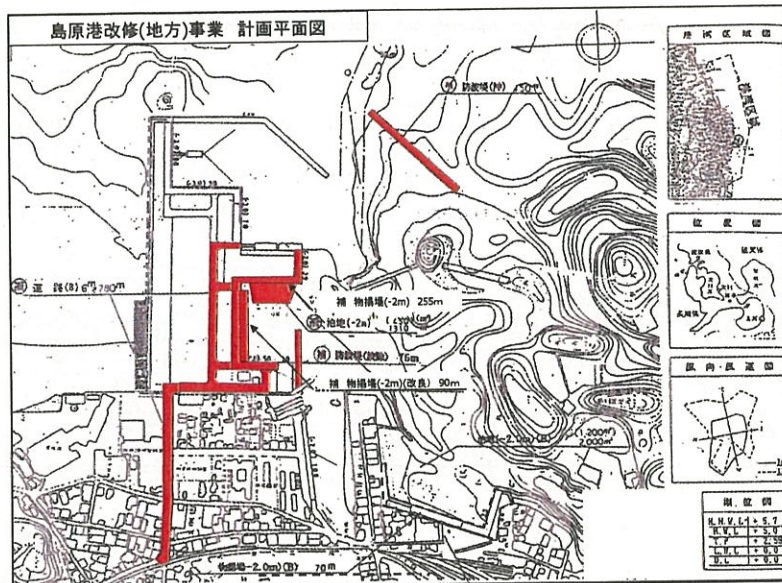
島原港改修事業  
(小型船だまり整備)

島原市 内港霊南地区





## 事業の概要



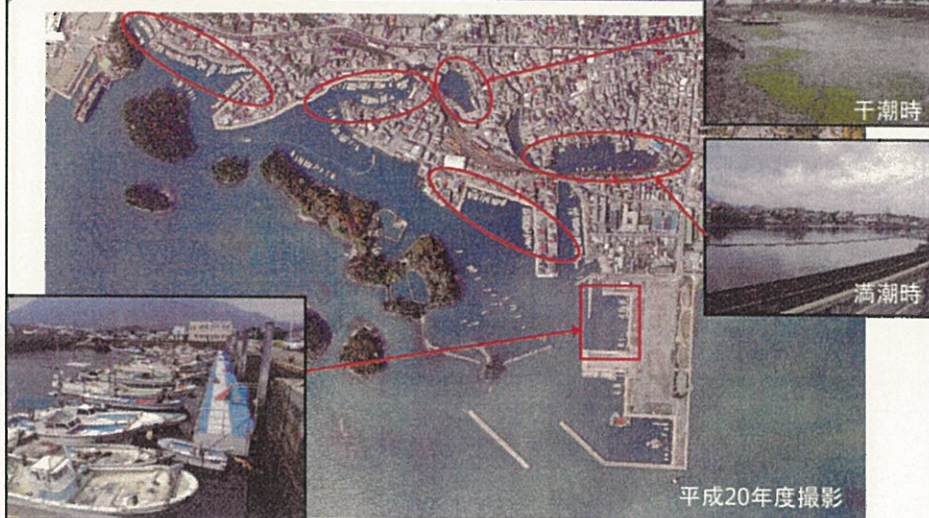
## 整備前状況



係留施設が少ないため、護岸係留や多層係留を行っており、出入港作業及び漁具積み込み作業などに支障をきたしている。



## 整備後状況



係留施設を整備したことにより、多層係留、護岸係留が緩和している。

## 就労環境改善効果



島原港は潮位差が5.0mあり、また、漁業者の高齢化が進んでいることから漁船への乗り降り、漁具の積込みに支障をきたしていたことから簡易浮体を整備することにより、労働環境を改善し、安全安心な漁業活動が行えるようになった。

## 費用対効果

- ・水産物生産コストの削減効果

- 防波堤・物揚場等漁船対策施設整備  
多層係留の解消、漁船の耐用年数の増加効果

- 浮体式係船岸整備  
係留準備作業の効率化

等



総費用 38.6億円 総便益 31.7億円

B/C 1.22



【事業の経緯】

別添資料1

港湾-2 下田港海岸環境整備事業の経緯

審議経過	再評価 の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初	—	S63	H20	15.8	採択時 算出なし	突堤 3基 護岸 640m 遊歩道 1,920m <sup>2</sup> 植栽 1,920m <sup>2</sup> 離護岸 310m 人工海浜 34,000m <sup>2</sup>
第1回審議 (H12)	事業採択後 10年経過	S63	H20	15.8	1.1	突堤 3基 護岸 640m 遊歩道 1,920m <sup>2</sup> 植栽 1,920m <sup>2</sup> 離護岸 310m 人工海浜 34,000m <sup>2</sup>
第2回審議 (H17)	再評価後 5年経過	S63	H21	16.1	1.71	突堤 3基 護岸 640m 遊歩道 1,920m <sup>2</sup> 植栽 1,920m <sup>2</sup> 離護岸 310m 人工海浜 34,000m <sup>2</sup>
第3回審議 (H27:今回)	事業完了後 5年経過	S63	H22	12.2	1.21	突堤 1基 護岸 745m 遊歩道 1,920m <sup>2</sup> 植栽 1,920m <sup>2</sup> 離護岸 152m



## 事後評価結果（平成 27 年度）

整理番号	港湾-2
担当課	東北振興局港湾漁港第二課
担当課長名	細川 修宏

事業名	下田港海岸環境整備事業	事業区分	港湾事業	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県松浦市星鹿町下田免 至：長崎県松浦市星鹿町下田免			延長	突堤 1基 護岸 745m 遊歩道 1,920㎡ 植栽 1,920㎡ 離岸堤 152m

### 事業概要

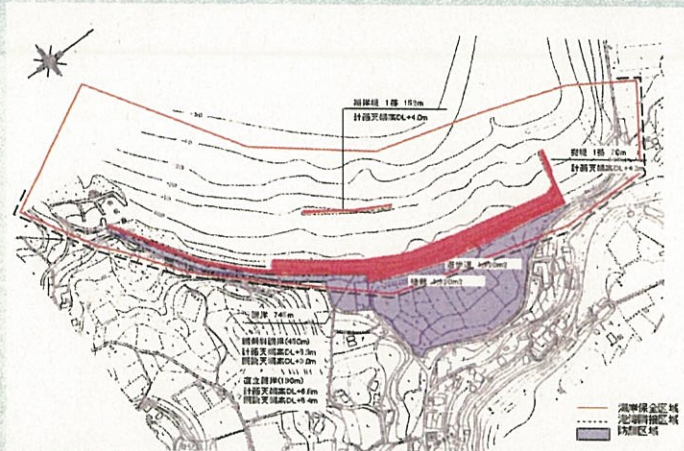
護岸背後には農地や事業所があり、冬季及び台風時には高潮等による越波被害が発生していることから護岸745m、離岸堤152m等の整備を行うものである。

### 事業の目的・必要性

・高潮・波浪等による浸水・浸食から防護区域内の資産を守り、また、植栽や遊歩道を整備することで親水性のある海浜づくりを行うことを目的とする。

### 事業概要図

#### 位置図



工期	着工	S	63 年度			
	完了	H	22 年度			
事業費	当初		16.1 億円			
	最終		12.2 億円			
B/C	当初	1.71	総便益(B) 36.9 億円	総費用(C) 21.6 億円	基準年度 H 17 年度	
	事後評価時点	1.21	総便益(B) 29.5 億円	総費用(C) 24.5 億円	基準年度 H 27 年度	

#### 便益の主な根拠

高潮便益 67,000千円/年

#### 事業の発現状況

事業の効果等  
護岸整備後、高潮・波浪等による浸水や浸食の被害は発生していない。また、近隣には小中学校等があり、地元住民を中心に海水浴等のレジャーの場として利用されている。



事業による環境変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・突堤の整備により海浜に砂が付き、親水性が向上した。</li> </ul>
<b>事業を巡る社会経済情勢等の変化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物価格(米) 再評価時(H17)236千円/トン→事後評価時244千円/トン</li> </ul>	
<b>対応方針</b>	
<b>当該事業に係わる対応方針</b> (今後事後評価の必要性及び改善措置の必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸整備後、浸水や浸食の被害は発生していないことから、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性はない。</li> </ul>	
<b>同種事業に係わる対応方針</b> (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) <ul style="list-style-type: none"> <li>・護岸の整備前後で、越波流量の変化を計測することは困難であるため、背後地住民の意見を基にした評価手法の検討が必要と考える。</li> </ul>	
<b>特記事項</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	

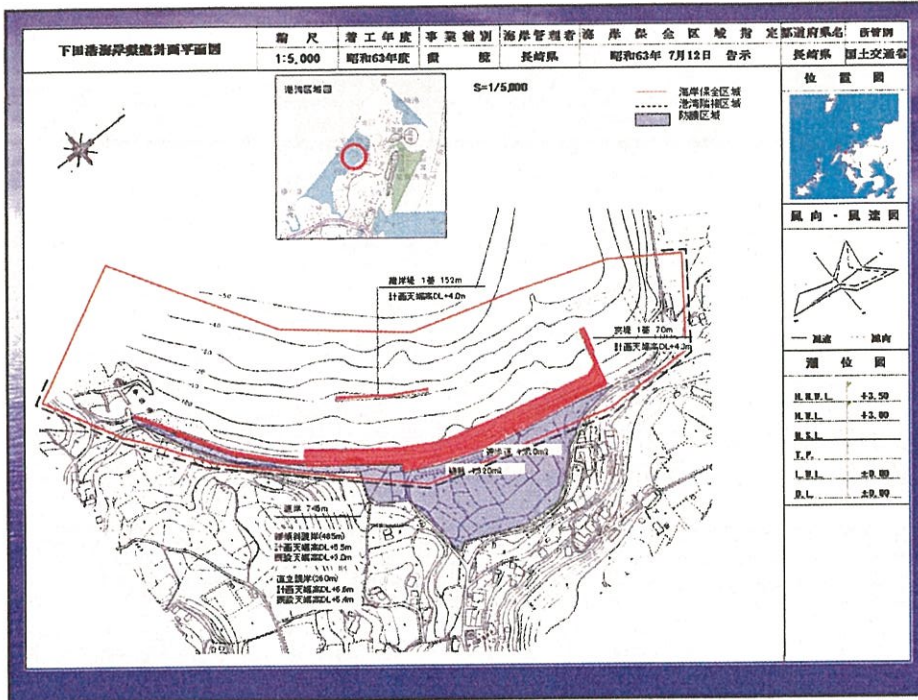


平成27年度  
長崎県公共事業評価監視委員会

下田港海岸環境整備事業













【事業の経緯】

別添資料1

港湾-3 川内港海岸環境整備事業の経緯

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B/C	概要
		着工	完了			
当初	—	H8	H19	—		採択時算出なし 護岸 510m 突堤(A) 1基 人工海浜(養浜) 37000㎡ 遊歩道 6700㎡ 植栽 14400㎡
第1回審議 (H17)	事業採択後 10年経過	H8	H19	15.96	1.75	護岸 510m 突堤(A) 1基 人工海浜(養浜) 37000㎡ 遊歩道 6700㎡ 植栽 14400㎡
第2回審議 (H27:今回)	事業完了後 5年経過	H8	H22	15.0	1.65	護岸 510m 突堤(A) 1基 人工海浜(養浜) 37000㎡ 遊歩道 6700㎡ 植栽 14400㎡



事後評価結果（平成 27 年度）

整理番号	港湾-3
担当課	県北振興局港湾漁港第二課
担当課長名	細川 修宏

事業名	川内港海岸環境整備事業	事業区分	港湾事業	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県平戸市川内町千里ヶ浜地区 至：長崎県平戸市川内町千里ヶ浜地区			延長	突堤 1基 護岸(改良) 510m 遊歩道 6,700m <sup>2</sup> 植栽 14,400m <sup>2</sup> 人工海浜 37,000m <sup>3</sup>

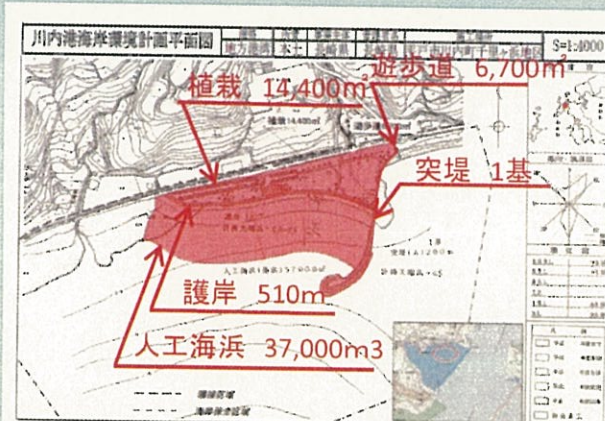
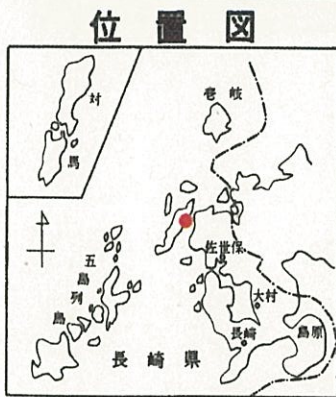
事業概要

既設護岸は老朽化が著しく天端高も不足しており、台風等による越波被害を受けていることから、護岸510m等の整備を行うものである。

事業の目的・必要性

・当地区既設護岸は、老朽化が著しく天端が低く、台風等の波浪による越波被害が生じている。また、計画区域及びその周辺は広く穏やかな海面・長い砂浜があり、近年では砂の減少が著しくなる等の問題があるため、自然景観との調和をはかり、藻場造成等を施設構造や工法の工夫により取り入れ、豊かな海辺の環境整備を行うものである。

事業概要図



工期	着工	H	8 年度				
	完了	H	22 年度				
事業費	当初	15.96 億円					
	最終	15.0 億円					
B/C	当初	1.75	総便益(B) 32.4 億円	総費用(C) 18.5 億円	基準年度	H 17 年度	
	事後評価時点	1.65	総便益(B) 44 億円	総費用(C) 27 億円	基準年度	H 27 年度	

便益の主な根拠

- ・高潮防護便益：0.4百万円/年
- ・負担便益(支払意思額)：1.68億円/年
- ・残存価値：2.49億円

事業の発現状況

事業の効果等

- ・高潮・波浪の被害から国土を保全することにより、民生の安定を図っている。
- ・施設完成後、潮干狩りのイベント会場にも使われるなど、海水浴だけでなく、様々なイベントの場としての利用されている。



事業による環境変化	・特になし
<b>事業を巡る社会経済情勢等の変化</b> ・平成17年10月1日、生月町、田平町、大島村が平戸市に合併された。	
<b>対応方針</b>	
<b>当該事業に係わる対応方針</b> (今後事後評価の必要性及び改善措置の必要性) ・施設完成後、高潮や浸水被害は発生していない、海水浴や潮干狩りなどのイベントの場として利用されていることから、今後の事後評価の必要性、改善措置の必要性はない。	
<b>同種事業に係わる対応方針</b> (同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性) ・現在緑地や環境整備の事後評価について評価手法が確立されていないため、今後は利用者数を基にした評価手法の検討が必要と考える。	
<b>特記事項</b>	
・特になし	



# 長崎県公共事業評価監視委員会

事後評価

川内港海岸環境整備事業

平戸市 川内町 千里ヶ浜

川内港海岸環境整備事業



昭和52年頃

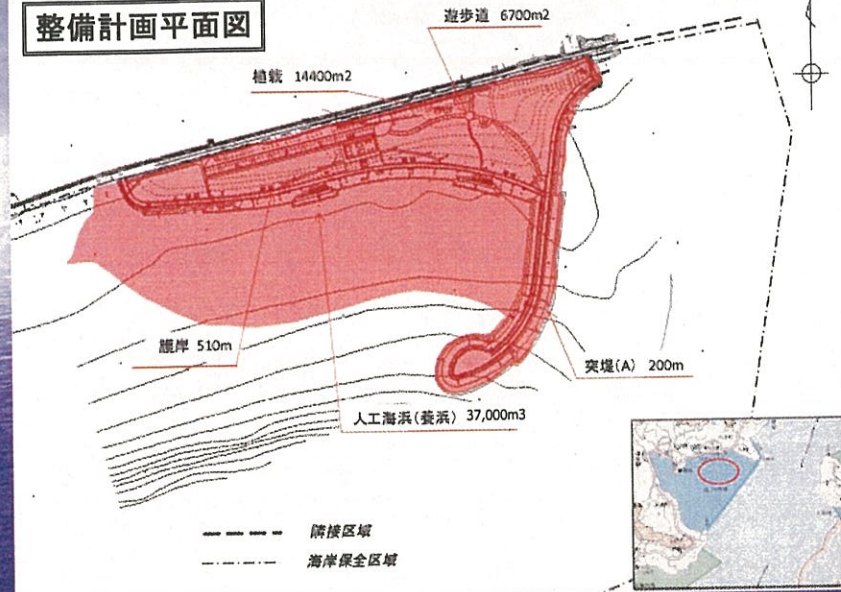


平成2年頃



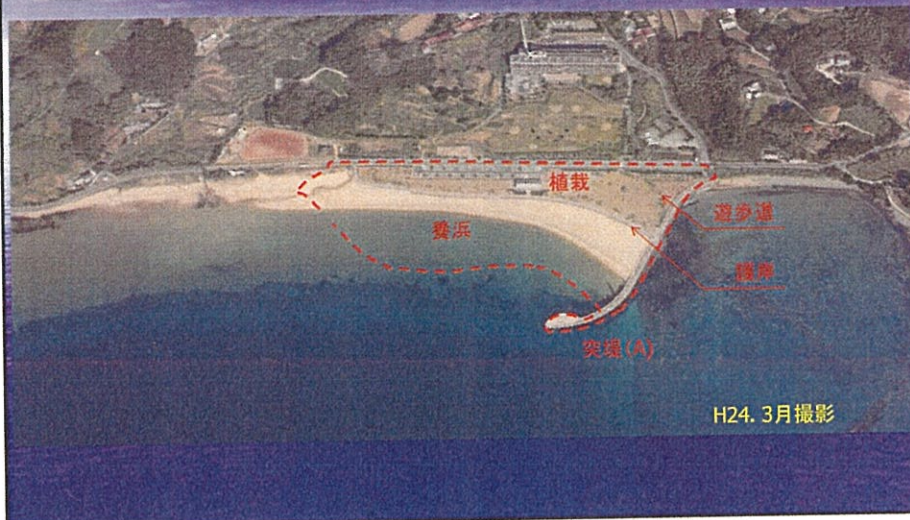
# 川内港海岸環境整備事業

## 整備計画平面図



# 川内港海岸環境整備事業

## 完成状況

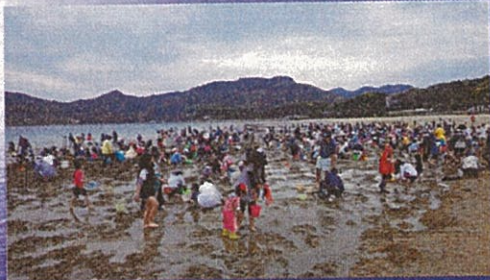








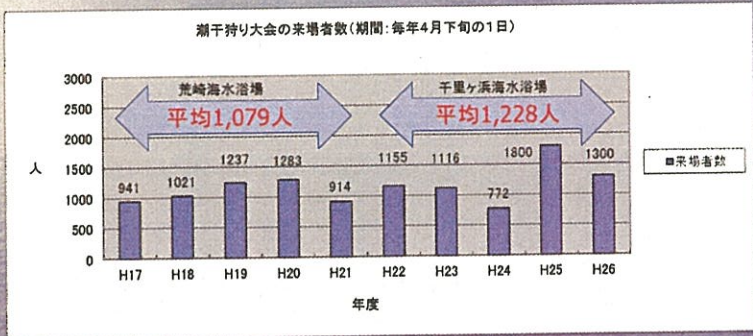
潮干狩りで賑うビーチ



H26. 4月撮影

●潮干狩り大会の来場者数の推移

平成22年以降、開催場所を千里ヶ浜海水浴場に変更し、来場者も増加



計画上の日最大利用者数 846人 < 利用者数の実績



## 平戸藩の四季めぐり かわら版 vol.14

# 第12回 アサリどっさり 潮干狩り大会 in 千里ヶ浜

### 4/19日 千里ヶ浜海水浴場

13:30~16:00 (受付11:00~) 雨天決行

詳しくはホームページをご覧ください

4/18(前日)~4/19(当日)期間に  
潮干狩りスタッフとして参加  
していただきませんか? 潮干狩りが  
おなじみの方であればお任せです!  
1日あたりでも可能です。

**特別企画**  
選手権3人に庶人募集♡

  
しんご  
Shingo

  
おだ  
Oda

  
こやま  
Koyama

TEL:090-64-24-221

## 平戸藩の四季めぐり かわら版 vol.14

### 第12回 アサリどっさり 潮干狩り大会 in 千里ヶ浜

4/19日 千里ヶ浜海水浴場



【特別企画】  
選手権3人に庶人募集♡

### 平戸藩の春めぐり

平成27年 3月1日(日)~5月31日(日)

3/1(日) 平戸天照ひらめまつり	3/2(月) 平戸天照ひらめまつり	3/3(火) 平戸天照ひらめまつり
3/4(水) 平戸天照ひらめまつり	3/5(木) 平戸天照ひらめまつり	3/6(金) 平戸天照ひらめまつり
3/7(土) 平戸天照ひらめまつり	3/8(日) 平戸天照ひらめまつり	3/9(月) 平戸天照ひらめまつり
3/10(火) 平戸天照ひらめまつり	3/11(水) 平戸天照ひらめまつり	3/12(木) 平戸天照ひらめまつり
3/13(金) 平戸天照ひらめまつり	3/14(土) 平戸天照ひらめまつり	3/15(日) 平戸天照ひらめまつり
3/16(月) 平戸天照ひらめまつり	3/17(火) 平戸天照ひらめまつり	3/18(水) 平戸天照ひらめまつり
3/19(木) 平戸天照ひらめまつり	3/20(金) 平戸天照ひらめまつり	3/21(土) 平戸天照ひらめまつり
3/22(日) 平戸天照ひらめまつり	3/23(月) 平戸天照ひらめまつり	3/24(火) 平戸天照ひらめまつり
3/25(水) 平戸天照ひらめまつり	3/26(木) 平戸天照ひらめまつり	3/27(金) 平戸天照ひらめまつり
3/28(土) 平戸天照ひらめまつり	3/29(日) 平戸天照ひらめまつり	3/30(月) 平戸天照ひらめまつり
3/31(火) 平戸天照ひらめまつり		

## 海浜の利用状況 (シーカヤック・乗馬・地引網)

### 平戸カヤック

大楽楽! 西海の自然 カヤックで感じる

#### シーカヤック 1day

乗馬体験 乗馬体験

料金 12,500円 (税別) 4,500円

#### 半日ツアー

乗馬体験 乗馬体験

料金 6,000円 (税別) 4,500円

#### Let's カヤック体験

乗馬体験 乗馬体験

料金 3,000円 (税別) 4,500円

VIA TRAVEL KAYAKS OF JAPAN  
**Shirado Kayaks**

TEL: 090-5474-4539



乗馬体験



地引網体験